



温泉文化を継承しつつ、
現代風に進化した共同湯。



総湯

柴山湯の湖畔に佇むモダンなガラス張りの建築に、自然を感じる「森の湯」と柴山湯一望の「湯の湯」の2つの湯があり毎日男女入替制。片山津の新しいシンボルとして愛されている。

☎0761-74-0550 新加賀市片山津温泉Z.65-2 営業6時～22時 休不定 大人420円、小学生130円、幼児50円、3歳未満無料 入浴50台



片山津温泉

①看板もお洒落! ②名物「湯の花たまご」(1個70円)は売店で販売! ③柴山湯の眺望が楽しめる遊歩道も! ④柴山湯に浸かっているような「湯の湯」

古い総湯の頃から夫婦で毎日、半日くらいは体がほかほかしているね。

定期券を持つ地元の常連さんは平日でも1日450人くらい来られます!



「総湯」の2階にある絶景カフェ。

まちカフェ

ナポリピザやパスタ、スイーツの他に、加賀産の食材を使用した「片山津バーガー」(700円)などご当地メニューが充実。夏には湖上花火も楽しめる。

☎0761-74-5500 新加賀市片山津温泉Z.65-2 営業10時～17時(L.O.16時30分) 休木 入浴50台

温泉地あそび



①加賀パフェは3月にリニューアルしたばかり。880円
②眺めの良いテラス席の他夏にはテラス席もオープン



湯上がりには柴山湯の湖岸でのんびりと過ごそう。

砂走公園には源泉からの足湯(①)と飲泉所(②)が。塩分を多く含む泉質で飲むと塩辛くミネラル豊富「浮御堂」は湯の元公園からすぐ

暮



スタッフと常連さんとの世間話で番台はいつも賑やか!



温泉に入った後のアイスクリームとおしゃべりが楽しみ♪

朝に夕に通うのが当たり前。総湯は庶民の社交場だった。加賀温泉郷とは霊峰白山を望む半径約8キロの小さな範囲に点在する4つの温泉地の総称。山代、山中、片山津、あわづの四湯からなる温泉地はそれぞれ異なったロケーションを持ち、湯の効能も違うが、総湯を中心に旅館や商店が軒を連ねる町並みと、庶民の暮らしに根づいた温泉文化が今もしっかりと残る。中央に君臨する「総湯」には定期券をぶら下げた地元客が毎日欠かさず通い「最近どう?」と顔見知りにも声をかけたり、「お先に」と観光客にもフレンドリー。「家のお風呂?使ったことないわー」と番台のおばちゃんも口を揃える。昔ながらの温泉文化を自然に受け継ぐ総湯。そのあたたかな湯船に浸かっていると、いつしか心もほかほかに。加賀の総湯めぐり、クセになりそう。

あわづ総湯

おっしょべ橋のすぐ近くに立つこぢんまりとした和風平屋建ての共同湯。男女別の大浴場が1つずつのシンプルな浴室と広めの休憩所があり、地元客の憩いの場となっている。

☎0761-65-1120 新小松市栗津町Y79-1 営業8時～22時 休毎月8-18-28日(土日祝の場合は営業) 大人400円、小学生130円、幼児50円、3歳未満無料 入浴20台



1300年の歴史を誇り
北陸最古と言われる温泉!

あわづ温泉

湯上がりに食べたい特製温泉玉子はお土産にもオススメ。

温泉を利用し婦人部で手づくりする。お土産用に箱入り(6個、10個入り)もある(1個70円)



①鮮やかな赤い下駄箱 ②番台では「湯の元」などお土産も ③重厚な佇まいの外観 ④無色透明の芒硝泉で肌になめらか。「あわづの湯が一番!」と番台のおばちゃんも太鼓判



温泉地あそび



公園には幸せになるという「幸せの鐘」(左)やユニークな顔出しパネルも

400年前から語り継がれる「おっしょべ恋物語」。

恋人の聖地

あわづは恋人の聖地としても有名。400年前から伝わる「おっしょべ恋物語」にちなんだスポットがあちこちに点があるのでカップルで訪れてみて。

☎0761-65-1834(あわづ温泉観光協会)